

鳴海周平の

ぶらり旅

なるみんと行く！

北海道・道南ヒーリングツアー編

『「ご縁のある場所」には「ご縁のある人」と「ご縁のあるタイミング」で「必ず」行くことになっっているようです』

そんな趣旨のもと、春と秋に開催している「なるみんと行く！ヒーリングツアー」。

今回訪れたのは、私・鳴海周平の故郷でもある北海道・道南地区。函館・江差・乙部を巡る春の旅です。



なるみの故郷・乙部町にある「海のプール」元和台海浜公園。環境省の快水浴場百選に北海道で唯一選ばれています。



大沼国定公園の名物といえば大沼だんご。沼の家さんの堀口慎哉社長と記念の1枚。



異国情緒が漂う函館赤レンガ地区。函館山もきれいに見えています。



函館山山頂からの雲海。夜景と一緒に観えることは珍しいそうです。



山頂レストランからは、世界一の夜景がとてもきれいに観えました。



彩雲に迎えられてスタートした北海道・道南地区を巡る旅。

まずは、五稜郭タワーに昇って五芒星のエネルギーをチャージ。観光都市・函館を代表する名所としてはもちろん、近年は特にパワースポットとしても人気を集めているそうです。今回もまた、以前「ぶらり旅」でお世話になった五稜郭タワーの木村朋希さんから、五稜郭の歴史や見所などについて興味深いお話を伺うことができました。



函館からバスで移動すること約1時間30分。生まれ故郷の乙部町へ到着です。

30年ほど前にUFOが頻出してたことでも知られ、当時、役場職員として取材などの対応をしていた、現・乙部町教育委員会事務局長の西田卓見さんから、当時の貴重な映像と共に、ご自身のUFO遭遇体験などをお話いただきました。



翌日も西田さんにご案内いただき、UFOが頻出していたという乙部町千岱野地区へ。右側にある竹森という小さな山の近くで、特に多くの飛来情報が寄せられたそうです。

ちなみにここ数年は、海側での目撃情報も多いとのこと。地球の磁場やエネルギーが大きく変化していることも関係しているのかもしれないね。

「なにかの問いを発した際に、周りの環境が(風や木々のさざめき、鳥の声などを通して)答えてくれる、という考え方を『外応』という」

祈りの旅などで全国を巡礼していた時にもよく感じていた自然界からのこうしたサインは、今回のツアーでも、彩雲や光のカーテン、日輪、雲海、という形で、ご参加の皆さんの想いを映し出してくれたのでした。

「令(レイ)〓ゼロ(〇)」と「和〓輪(〇)」という2つの〇から成る新元号「令和」。

一人ひとりが、〇と〇からできる∞(無限大)の可能性(神性)に気づく新しい時代の始まりにふさわしいヒーリングツアーとなりました。

この度のヒーリングツアーにご参加の皆さま、関係各位に改めて感謝申し上げます。どうもありがとうございました!!



おとべ温泉光林荘の新川信満社長(中央)伝説のバスガイドさっちゃんこと森幸子さん(前列右)運転手さんの山谷さん(後列左)と。とても楽しいひと時をどうもありがとうございました!!



日本初の女子修道院としても知られるトラピスチヌ修道院。ここでしか買えない「マダレナ」という焼き菓子は添乗員さんもオススメの逸品です。



北海道最古の神社と云われる姥神大神宮で正式参拝の後、鎌田宮司から貴重なお話を伺うことができました。



追分の街・江差町にあるかめ島。かつては弁天島と呼ばれ、ニシン漁や北前船交易の舞台でもありました。